

< 講演者 1 >

藤倉 克則 (海洋研究開発機構・上席研究員)

『相模湾の深海にもぐったら不思議な生物の世界がありました』

< 講演者 2 >

間嶋 隆一 (横浜国立大学環境情報研究院・教授)

『三浦半島の地層から分かる過去の相模湾周辺の環境変動』

日本古生物学会
普及講演会

化石と現生生物 から分かる 相模湾の 大規模環境変動



日時: 2013年1月27日(日) 14:00-16:00 (開場 13:30)

場所: 県民共済 みらいホール

参加申込み不要・入場無料

神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-8-2 県民共済プラザビル 1階 <みなとみらい 29 街区 >

問い合わせ先: 日本古生物学会事務局

〒113-0033

東京都文京区本郷 7-2-2 本郷 MT ビル 401 号室

E-mail: psj-office@world.ocn.ne.jp

電話: 03-3814-5490

FAX: 03-3814-6216



主催: 日本古生物学会

共催: 横浜国立大学・独立行政法人海洋研究開発機構

※この講演会は文部科学省の研究成果公開促進費の援助を受けて開催しています。

地球環境変動の研究は生命の歴史、地球の歴史を理解する上で重要なトピックです。地球の地殻変動が環境変化をもたらし、その結果、地球上の生物が影響をうけます。そのような変化は陸上に現れた化石と地層を調べることにより詳細に明らかにすることができます。一方、現在生きている生物を深海調査船で詳しく調べれば、今起きている環境変動を克明に捉えることができます。過去と現在のふたつの研究から、生物群集の変化をもとに地球環境変動を理解することで、生物がどのように生きてきたのか、環境変化にどのように対応してきたのかを明らかにすることができます。本講演会では、相模湾の現在と過去の生物から分かる環境変動をそれぞれ生物学と地質学を軸に解説します。

< 講演 1 >

藤倉 克則（海洋研究開発機構・上席研究員）

「相模湾の深海にもぐったら不思議な生物の世界がありました」

深海生物の生態や実験の様子について映像を交えながら紹介します。そして、深海には生物のパラダイスがあること、繁殖のために工夫していること、生物進化を考える上で重要なこと、死んだ鯨が深海に沈むとどうなるかなどについて説明します。

< 講演 2 >

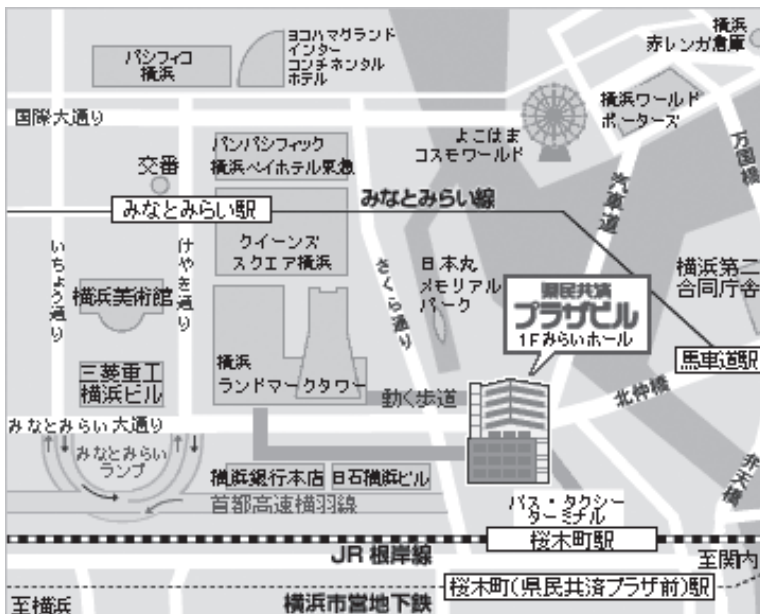
間嶋 隆一（横浜国立大学環境情報研究院・教授）

「三浦半島の地層から分かる過去の相模湾周辺の環境変動」

現在、南関東では大地震などによる大きな災害が起こることが心配されています。三浦半島には、約 1200 万年前から 50 万年前の地層が露出し、これらの地層や地層から産出する化石は過去の南関東で起こった環境変動（地震活動、火山活動、気候変動等）を記録しています。今回の講演では、地層の解析から分かる過去の環境変動についてお話しします。



～ 会場へのアクセス ～



県民共済 みらいホール

〒231-8418

神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-8-2

県民共済プラザビル 1 階

< みなとみらい 29 街区 >

電話：045-201-3080

< 電車 >

JR 根岸線

「桜木町」駅下車 徒歩約 3 分

横浜市営地下鉄

「桜木町（県民共済プラザ前）」駅下車

徒歩約 4 分

みなとみらい線

「みなとみらい」駅下車 徒歩約 5 分